

へいせい ねんど
平成25年度

どようび きょうしつ
土曜日フォローアップ教室だより No.7

へいせい ねん がつ にち
平成26年1月7日

しじょうなわて しきょういくいいんかいせいしやうねんか
四條畷市教育委員会青少年課

あけましておめでとうございます

ことし うまだし はつもうで い
今年(ことし)は午年(うまだし)。初詣(はつもうで)に行(い)って「ウマ(あ)が合う(ども)友(とも)だちとウマイ(もの)い物(た)を食(い)べに行(い)けますように・・・。」
なにごと ねが
「何事(なにごと)もウマ(ねが)くいきますように・・・。」と願(ねが)いをして(き)ましたが、みなさん(ねが)はどんな願(ねが)いをして(き)たので(し)ょうか・・・。

はや
早(はや)いもの(も)でも(も)う3(が)っ(き)学期(き)になりました。今(いま)の学(が)く(ねん)年(が)く(しゅう)で学(き)かん
習(かん)する期(き)間(かん)もあ(と)わ(ず)か10(しゅう)週(かん)
ほ(ど)し(か)残(のこ)っ(て)い(ま)せ(ん)。だ(か)ら(こ)そ、わ(か)ら(な)い(こ)とを(その)ま(ま)に(し)て(お)く(と)次(つぎ)の学(が)く(ねん)
年(が)く(しゅう)で学(き)かん
習(かん)が(わ)か(ら)な(く)な(り)、勉(べん)強(きやう)が(き)ら(い)に(な)っ(て)し(ま)う(き)っ(か)け(と)な(る)場(ば)あ(い)
合(あ)い(も)あ(り)ま(す)。
がっこう だようきょうしつ
学(が)っ(こう)校(こう)でも(も)土(ど)曜(よう)教(きょう)室(しつ)でも(も)わ(か)ら(な)い(こ)とが(あ)れ(ば)遠(えん)慮(り)な(く)先(せん)生(せい)に(き)いて、少(す)し(も)わ(か)る
よ(う)に(し)て(お)き(ま)し(よ)う。

とく ねんせい みな そつぎょう む
特(とく)に6(ねん)生(せい)の皆(みな)さん(そつぎょう)は卒(む)業(ぎょう)に(む)け(て)い(ろ)い(ろ)な(ぎょう)行(い)事(じ)で忙(いそ)しく(な)る(こ)とで(し)ょう(が)、
だようきょうしつ さいご さんか ちゅうがっこうせいかつ ひつよう きそてき がくりよく あた くだい
土(ど)曜(よう)教(きょう)室(しつ)にも(も)最(さい)後(ご)ま(で)参(さん)加(か)し(て)、中(ちゅう)学(がく)校(こう)生(せい)活(かつ)に(ひつ)要(よう)な基(き)礎(そ)的(てき)な学(が)く(り)ょく
力(りき)や、与(あた)え(ら)れ(た)課(か)題(だい)
を(き)ち(ん)と(や)り(と)げ(る)習(しゅう)慣(かん)を(し)っ(か)り(と)身(み)に(つ)け(て)お(き)たい(も)の(で)す(ね)。

がつ がくしゅう 1月の学 習について・・・

がつ だようきょうしつ ぜんかいじょう にち にち じっし
1(が)つ月の(ど)う(き)ょう(しつ)土(ぜん)曜(かい)教(じょう)室(じょう)は全(ぜん)会(かい)場(じょう)とも(も)1(にち)1(にち)日(じつ)と1(じっ)8(じつ)日(じつ)に(じっ)施(し)ま(す)。

ふゆやす お しょうがつきぶん ふ はら がくねん とき
冬(ふゆ)休(やす)みも(お)終(しょう)わ(り)、お(しょう)正(がつ)月(き)分(ぶん)も(ふ)振(は)り(は)ら(が)く(ねん)り(と)学(とき)
年(ねん)の(ま)と(め)に(が)ん(ば)る(と)時(とき)で(す)。

だようきょうしつ きょうざい かにがくしゅうよう
土(ど)う(き)ょう(しつ)曜(よう)教(きょう)室(しつ)の(きょう)教(ざい)材(ざい)や(かに)家(が)庭(てい)学(がく)習(しゅう)用(よう)の(しゅう)ド(ど)リ(り)ル(る)な(ど)が(ま)だ(た)く(さ)ん(の)残(のこ)っ(て)い(る)人(ひと)は、
3(が)つ
月(げつ)ま(で)に(き)ち(ん)と(や)り(と)げ(て)、算(さん)数(すう)や(こく)国(こ)語(ご)の(き)基(き)礎(そ)的(てき)な(ち)力(りき)を(つ)け(て)お(き)ま(し)よ(う)。
とく べんきょう にがて おも ひと やす さんか
(特(とく)に、勉(べん)強(きやう)が(に)が(て)苦(く)手(て)だ(と)思(おも)っ(て)い(る)人(ひと)こ(そ)休(やす)ま(な)い(で)参(さん)加(か)し(て)ほ(し)い(で)す(・・・))

うまどし 午年というこ^{うま}と^{かん}馬に^{あつ}関^しすることばを集めてみました。いくつ知^しっているかな？

うま みみ
馬の耳に ()

ば じ
馬耳 ()

() ば しょく
馬食

ば きやく
馬脚を ()

い うま
生き馬の () を抜く

ちく ば
竹馬の ()

() たか うま こ
高く馬肥ゆる秋

ま ご
馬子にも ()

うま みみ ねんぶつ
馬の耳に念仏 (いくら意見^{いけん}をしても効果^{こうか}がない、ありがたみがわからない様子^{ようす})

ばじとうふう にん いけん きなが
馬耳東風 (人の意見^{いけん}を聞き流^{なが}すこと)

ぎゅういんばしょく たいりょう の みく い
牛飲馬食 (大量^{たいりょう}に飲み食^{のみく}いすること)

ばきやく あらわ
馬脚を現^{あらわ}す (かくしていた正体^{しょうたい}がばれてしまうこと)

い うま め ぬ たにん だ め すばや り え 油断
生き馬の目を抜く (他人^{たにん}を出し抜^ぬいて素早^{すばや}く利^りを得ること、油断^{ゆだん}ができないこと)

ちく ば とも
竹馬の友 (おさななじみ)

てんたか うま こ あき あき きこう よ かいてき きせつ
天高く馬肥ゆる秋 (秋^{あき}は気候^{きこう}も良^よく快適^{かいてき}な季節^{きせつ}である)

ま こ いしやう みぶん ひく ふくそう
馬子にも衣装 (身分^{みぶん}が低^{ひく}くても服装^{ふくそう}によっては立派^{りっぱ}に見えること)